

AIDS UPDATE

No.19 2000.12.21

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線2941 (輸血部副部長室)

Internet:www.aids-chushi.or.jp

AIDS UpDate JAPAN 第2巻1号

厚生省研究班：白阪班として続きます

厚生省エイズ治療のための地方ブロック拠点病院をつないでいる研究班は、平成12年度から白阪琢磨先生(国立大阪病院臨床研究部ウイルス研究室長)が研究代表者になりました。研究班の中で本院エイズ医療対策室の高田は分担研究者を続けることになりました。ひきつづき中四国ブロックを担当するほか、情報誌「AIDS UpDate JAPAN」の編集を行います。

第2巻第1号の内容は、研究班の代表者、白阪先生のご挨拶があります。拡大し続ける日本のHIV感染症についての危機感が表れています。後半の「中四国ブロック版」は、中四国の現状と私たち医療機関の課題を書きました。今後は、もっと医療機関内でHIV検査を勧めていく必要があります。



日本の最新データ

厚生省エイズ動向委員会の報告

12月5日づけの日本のエイズ統計です。2ヶ月毎の登録では、前回と今回でワースト2位3位となっています。青少年、外国人、同性愛者、性風俗従事者と利用者に予防啓発を充実させなければならぬと委員長はコメントしています。

広大病院は累計67人

広島大学医学部附属病院では、12月20日現在、HIV抗体検査陽性が確認された患者数は67人になりました。2000年度に外来受診記録がある生存中の感染者・発病者は33人です。



<ご意見募集>

◆ 「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。コピーは自由にして頂いて構いません。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。[TAKATA, OE]

e-mail:takata@aims-chushi.or.jp